

The background is a stylized painting of a cityscape. It features several buildings in shades of pink, red, and orange. The buildings have arched windows and doorways. In the foreground, there is a blue column with a decorative capital. The ground is a mix of yellow and brownish-purple. A green crenelated wall is visible in the background. The overall style is flat and graphic.

野村幸弘 / 退場人物展 II

2018 10.2 Tue. - 10.28 Sun.

Quartier Latin Ikeshita, Nagoya

野村幸弘 / 退場人物展 II

10.2 Tue.-10.28 Sun. カルチェ・ラタン [名古屋池下]

1997年に大阪茨木市の「光の教会」で開催した「退場人物展」のキャンバス画と、それ以前の同主題の小板絵約30点を展示。



1980年代の後半から90年代前半にかけて、おもにイタリアで緻密に描かれた祭壇画や、壮大なフレスコ画など、数多くのキリスト教絵画を見た。そこには、かつて行われた聖人の奇蹟が表され、その奇蹟を信じていた時代の揺るぎない表現があった。現代ではそうした信仰が影を潜めてしまったため、絵の中に描かれている登場人物をすべて退場させようと考えた。すると誰もいなくなった背景だけの舞台が絶望的に虚しいと同時に、どういうわけか、奇妙に明るく清々しいものに感じられたのである。

野村幸弘 [幻想工房主宰]

野村幸弘 1961年、京都市生まれ。東北大学とイタリア、シエナ大学で美術史を学ぶ。美術史の学術論文、翻訳のほか、1990年代後半から芸術評論、絵画・オブジェ・映像の制作を始める。「幻聴音楽会」「岐阜大学芸術フォーラム」などを通じ、「場所の芸術」を追求。現在、岐阜大学教授。

10.6 Sat. 18.30~

オープニング
野村誠 & E. ベルテッリ コンサート

- *参加無料 [申し込みは不要ですが、座席確保をご希望の方は、事前にお申し込み下さい]
- *このチラシをご提示いただければご飲食が10%オフとなります。どうぞご利用下さい。



名古屋千種区池下町 2-28
ご予約 TEL.052-751-8033

アート倶楽部 [カルチェ・ラタン]
QUARTIER LATIN
IKESHITA

野村幸弘 / 退場人物展 II

10.2 Tue.-10.28 Sun. カルチェ・ラタン [名古屋池下]

1997年に大阪茨木市の「光の教会」で開催した「退場人物展」のキャンバス画と、それ以前の同主題の小板絵約30点を展示。



13世紀末頃から、イタリア絵画はその空間表現を大きく転換させていった。それまでの絵画には室内と室外の区別がなく、床や天井といった概念もなかったが、しだいに現実に近い三次元的な空間が表されるようになった。そしてそれが15世紀ルネサンスの遠近法空間として完成したのである。ただそうした合理的な空間表現に慣れてしまうと、遠近法が成立する前の、平面的でありながらも立体的でもあるような不思議な絵画空間がかえって新鮮で、平面であることの自由さに快楽を覚えるのである。

野村幸弘 [幻想工房主宰]

野村幸弘 1961年、京都市生まれ。東北大学とイタリア、シエナ大学で美術史を学ぶ。美術史の学術論文、翻訳のほか、1990年代後半から芸術評論、絵画・オブジェ・映像の制作を始める。「幻聴音楽会」「岐阜大学芸術フォーラム」などを通じ、「場所の芸術」を追求。現在、岐阜大学教授。

10.13 Sat. 18.30~

野村幸弘のトーク 「退場人物の系譜」

- *参加無料 [申し込みは不要ですが、座席確保をご希望の方は、事前にお申し込み下さい]
- *このチラシをご提示いただければご飲食が10%オフとなります。どうぞご利用下さい。



名古屋千種区池下町 2-28
ご予約 TEL.052-751-8033

アート倶楽部 [カルチェ・ラタン]
QUARTIER LATIN
IKESHITA

野村幸弘 / 退場人物展 II

10.2 Tue.-10.28 Sun. カルチェ・ラタン [名古屋池下]

1997年に大阪茨木市の「光の教会」で開催した「退場人物展」のキャンバス画と、それ以前の同主題の小板絵約30点を展示。



1995年から96年にかけて、ぼくは集中的にたくさんの絵を描いていた。そのテーマの一つが「退場人物」だった。聖なる場面から聖なる人物や事物を取り除いたこのシリーズは、教会からあらゆる装飾物を削ぎ落としてスリット状の十字架だけを残した「光の教会」で発表するのがふさわしいと考えた。それで、描きためていた小板絵を、教会の大きな壁面に合うようにキャンバス画に描きなおして「退場人物展」を1997年に開催した。今回は、その展覧会以前に描いていた小板絵を展示する。

野村幸弘 [幻想工房主宰]

野村幸弘 1961年、京都市生まれ。東北大学とイタリア、シエナ大学で美術史を学ぶ。美術史の学術論文、翻訳のほか、1990年代後半から芸術評論、絵画・オブジェ・映像の制作を始める。「幻聴音楽会」「岐阜大学芸術フォーラム」などを通じ、「場所の芸術」を追求。現在、岐阜大学教授。

10.27 Sat. 16.30~ 「映像美術史」レクチャー & 上映会

「セザンヌ、最後のジャポニスト」

映像：野村幸弘 音楽：坂野嘉彦 ピアノ：田中美香

*入場料 2500円 [要予約・定員 20名]



名古屋千種区池下町 2-28
ご予約 TEL.052-751-8033

アート倶楽部 [カルチェ・ラタン]
QUARTIER LATIN
IKESHITA